

令和8年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程（追検査）

V 社 会

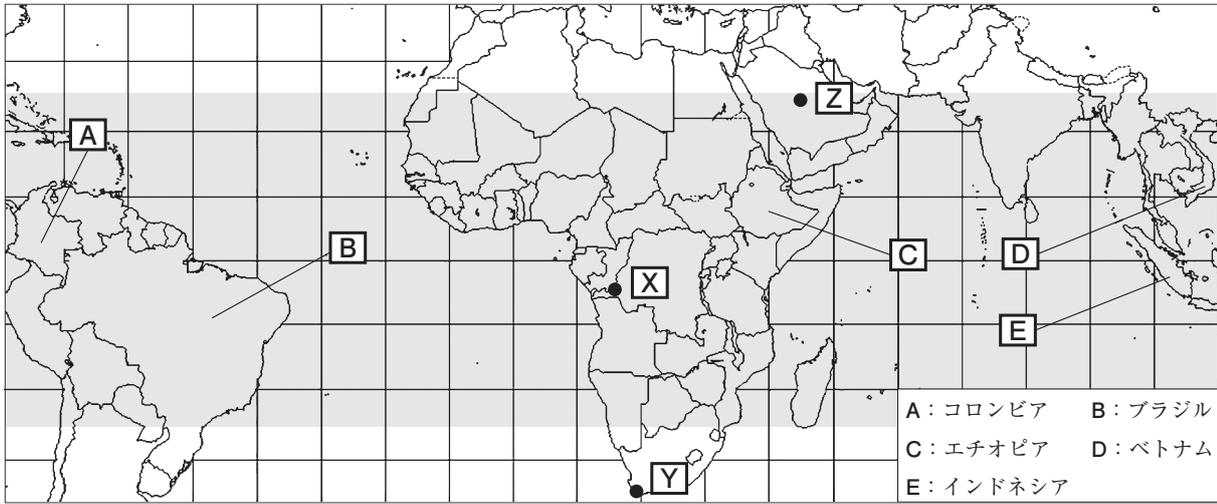
注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問7まであり、1ページから14ページに印刷されています。
- 3 解答用紙の決められた欄に解答しなさい。
- 4 マークシート方式により解答する場合は、選んだ番号の○の中を塗りつぶしなさい。
- 5 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号								番
---------	--	--	--	--	--	--	--	---

問1 Kさんは、「コーヒーはどのような国で生産されているか。」という学習課題を設定し、次の略地図とメモを作成した。これらについて、あとの各問いに答えなさい。なお、略地図の緯線は赤道から、経線は本初子午線からそれぞれ10度ごとに引いたものである。

略地図



メモ

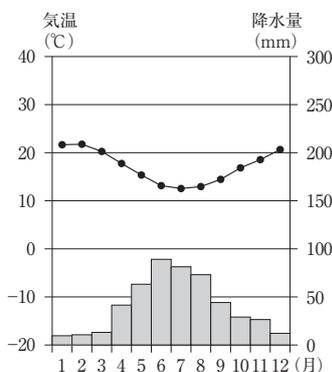
- 略地図中の **A** ~ **E** の国は、2023年のコーヒー豆の生産量上位5か国を示しています。
- コーヒー豆の生産は、略地図中の で示された「コーヒーベルト」とよばれる地帯を中心におこなわれています。略地図から、「コーヒーベルト」は、およそ **あ** の範囲に位置していることがわかります。
- **B** の国では、かつてはコーヒー豆が主要な輸出品でしたが、近年は輸出品が多様化しています。
- **D** の国の主な輸出品は機械類で、**E** の国の主な輸出品は石炭です。
- **A** や **C** の国は、コーヒー豆の生産のほかにもバラなどの切り花の栽培がさかんで、日本にも輸出しています。

(ア) **あ** にあてはまる語句として最も適するものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

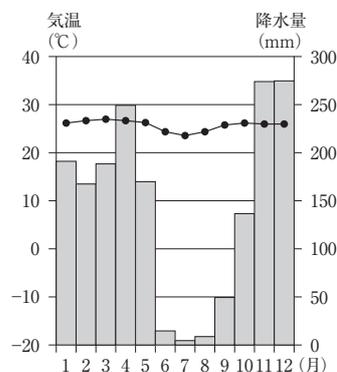
1. 北緯45度から南緯5度まで
2. 北緯15度から南緯35度まで
3. 北緯25度から南緯25度まで
4. 北緯35度から南緯15度まで

(イ) 次のI~IIIのグラフは、略地図中の都市**X**~**Z**の気温と降水量を示したものである。グラフと都市の組み合わせとして最も適するものを、あとの1~6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

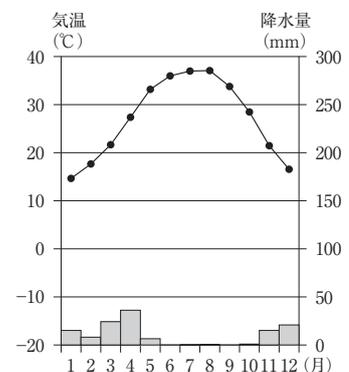
I



II



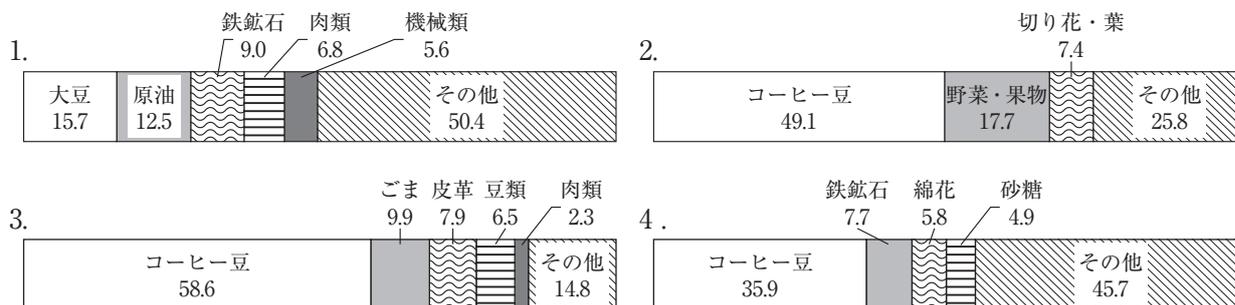
III



(気象庁ウェブサイト掲載資料(1991~2020年)をもとに作成)

1. I: 都市 **X** II: 都市 **Y** III: 都市 **Z** 2. I: 都市 **X** II: 都市 **Z** III: 都市 **Y**
3. I: 都市 **Y** II: 都市 **X** III: 都市 **Z** 4. I: 都市 **Y** II: 都市 **Z** III: 都市 **X**
5. I: 都市 **Z** II: 都市 **X** III: 都市 **Y** 6. I: 都市 **Z** II: 都市 **Y** III: 都市 **X**

(ウ) メモ中の——線に関して、次の1～4のグラフは、1970年のブラジル、2023年のブラジル、1970年のエチオピア、2022年のエチオピアのいずれかの輸出品とその割合を表している。2023年のブラジルのグラフとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。



(『世界国勢図会 2025 / 26 年度版』, UN Comtrade 資料, エチオピア中央銀行資料をもとに作成, 単位は%)

(エ) Kさんがさらに集めた次の資料1～資料3と、略地図、メモを参考に、あとの(i), (ii)の問いに答えなさい。

資料1 コーヒーの歴史 (できごとは、年代の古い順に並べたものである)

年代	できごと
年代不明	コーヒー豆発祥地のエチオピアからアラビア半島に、コーヒーを飲む文化が伝えられた。
16世紀	アラビア半島からヨーロッパに、コーヒーを飲む文化が伝えられた。
17世紀	イギリス、フランスなどで、コーヒーハウス(注)が登場した。

(注) 17世紀半ばから18世紀にかけて、ヨーロッパ各地で流行した喫茶店のこと。社交場の機能を兼ね、社会的に大きな役割を果たした。

資料2 コーヒー豆の輸出が輸入より多い国のうち、コーヒー消費量上位4か国(2023年)

国	消費量
ブラジル	23,051
インドネシア	6,114
ベトナム	4,235
エチオピア	3,783

(資料2, 3の消費量の単位は1000袋。(1袋=60kg))

資料3 コーヒー豆の輸入が輸出より多い国のうち、コーヒー消費量上位4か国(2023年)

国	消費量
アメリカ合衆国	23,457
ドイツ	7,462
日本	6,670
フランス	5,686

(資料1～3は、全日本コーヒー協会ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

(i) コーヒーの歴史について述べた次の文X, Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 資料1によると、コーヒーを飲む文化は、アフリカから西アジアを経てヨーロッパに伝わった。
Y ベトナムやインドネシアが植民地支配から独立したころ、ヨーロッパにコーヒーハウスが登場した。

1. X:正 Y:正 2. X:正 Y:誤 3. X:誤 Y:正 4. X:誤 Y:誤

(ii) 次の文a～dのうち、2023年のコーヒー豆の生産量やコーヒーの消費量について考えられることの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

a 資料2の4か国は、コーヒー豆の生産量上位5か国に含まれている。
b 資料3の4か国は、国土のすべて、または大部分が「コーヒーベルト」の外に位置している。
c ブラジルはコーヒー豆発祥地であり、コーヒー消費量が世界で最も多い国である。
d アメリカ合衆国のコーヒー消費量は、アジア州全体の消費量と比べて、2倍以上である。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd 6. cとd

問2 Kさんは、「過疎対策の取り組みにはどのようなものがあるのか。」という学習課題を設定し、高知県の馬路村^{うまじむら}について調べ、次の資料1～資料4と村の中心部を含む範囲を示した地形図を集めた。これらについて、あとの各問いに答えなさい。

資料1 馬路村について

昭和中期頃、馬路村の中心産業として栄えていた^①林業が全国的にも衰退の一途を辿ります。林業に代わる産業として、古くから地元料理のちらし寿司^{ずし}などの調味料として使われてきた^②ゆずを使用して地域活性化を図りました。(中略)馬路村では「人口減少」の深刻な課題を抱えています。そこで、村外の方々に「馬路村に住んでみたい」と思ってもらうための村づくりとして、若者への活動支援と馬路村ワーキングホリデー事業(注)の取組を始めました。ワーキングホリデー参加者の力を借りて馬路村全体が少しずつ活気づいてきました。

(注) 県外から募集した参加者に宿泊場所を提供し、ゆずを収穫する業務に従事してもらいながら馬路村の暮らしを知ってもらう制度。

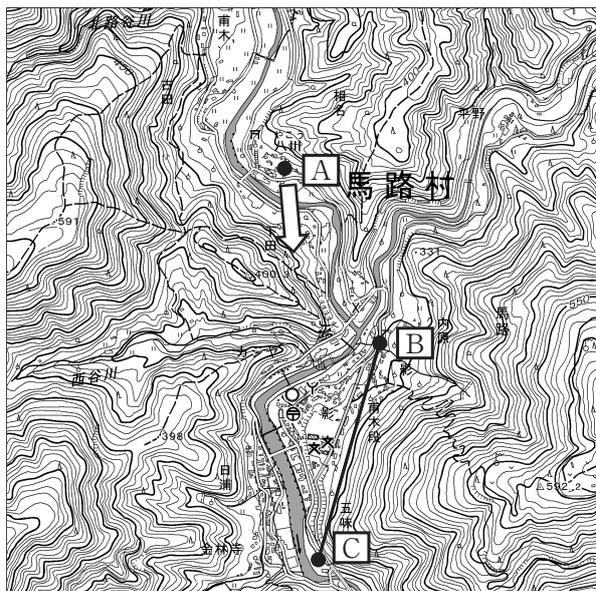
(馬路村ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

資料2 日本の木材供給における国産材と輸入材の量(万m³) 資料3 馬路村の人口ピラミッド

調査年	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
国産材	6,376	4,978	3,696	3,130	1,906	1,892	3,115
輸入材	771	5,682	7,525	8,195	8,195	5,296	4,329

(林野庁ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

地形図



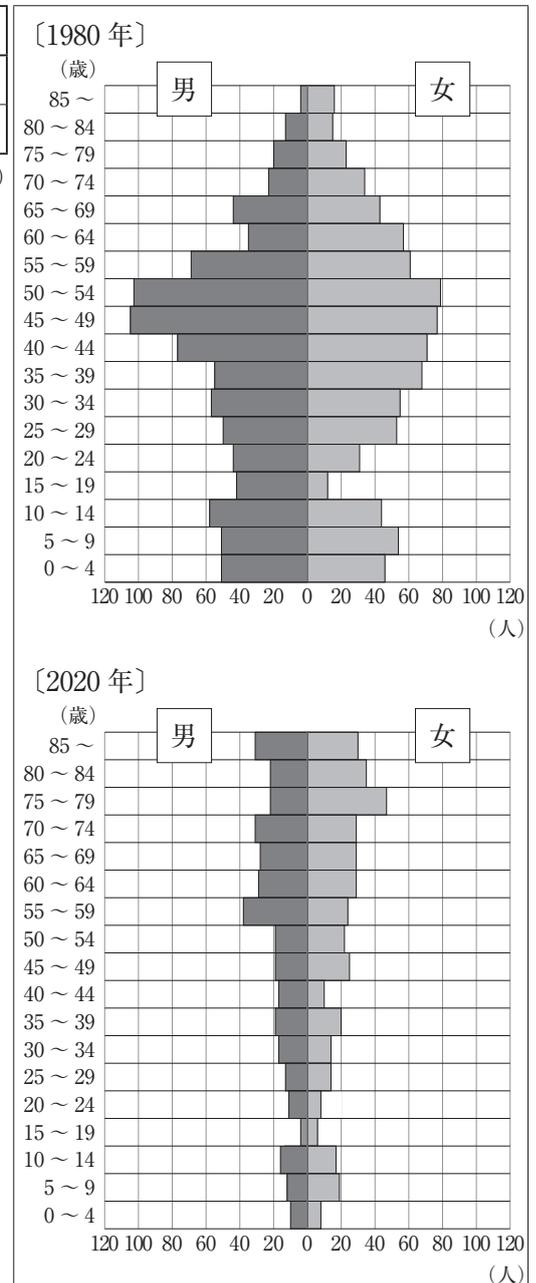
(「2万5千分の1の電子地形図 国土地理院作成(令和7年調製)」一部改変)

資料4 馬路村の人口、農家人口、歳入

調査年	1995	2000	2005	2010	2015
人口(人)	1,242	1,195	1,170	1,013	823
農家人口(人)	—(注)	317	273	126	114
歳入(百万円)	—(注)	2,752	2,418	2,622	3,017

(注) — はデータがないことを示す。

(馬路村ウェブサイト掲載資料をもとに作成)



(統計局ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- (ア) 資料1中の——線①に関して述べた次の文中の **あ** , **い** にあてはまる数字と語句の組み合わせとして最も適するものを、資料2を参考に、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料2において、国産材と輸入材の合計に対する国産材の割合が最も低くなった調査年は **あ** 年である。国産材としては、 **い** 地方にある紀伊山地で吉野すぎが生産され、木材のブランドとして知られている。

1. あ：2000 い：近畿 2. あ：2000 い：九州 3. あ：2010 い：近畿 4. あ：2010 い：九州

- (イ) 資料3や地形図から読み取れることについて述べた次の文X, Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 1980年と2020年を比較すると、2020年の方が65歳以上の人口が多い。
Y 地形図内には高等学校がなく、2020年ではほかの年齢層と比べて15～19歳の人口が最も少ない。

1. X：正 Y：正 2. X：正 Y：誤 3. X：誤 Y：正 4. X：誤 Y：誤

- (ウ) 地形図について述べた文として最も適するものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。ただし、**B**—**C**の地形図上の長さは3cmであるものとする。

1. この地形図内の **A** 地点の地上に立って矢印 () の方向を向いたとき、消防署を眺めることができる。
2. **B**—**C** の実際の距離は1,500 mである。
3. この地形図に示された範囲では、河川沿いに鉄道の駅や病院がみられる。
4. この地形図内の住居が集まっている地域は、標高200 mよりも高い場所にある。

- (エ) 資料1中の——線②に関して、Kさんは次の表を作成した。この表や資料1, 資料4を参考に、あとの文X～Zの正誤の組み合わせとして最も適するものを、1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

調査年	1995	2000	2005	2010	2015
ゆずの生産量 (トン)	341	605	477	719	826
ゆずの加工品販売高 (百万円)	1,385	2,573	3,162	3,234	3,022

(馬路村ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

X いずれの調査年でも、ゆずの生産量1トンあたりの加工品販売高が、400万円を超える年はない。
Y 調査年ごとに人口は減り続けており、移住促進のための事業や若者への活動支援が始められている。
Z 2000年と2015年を比較すると、歳入と農家人口一人あたりのゆずの生産量はどちらも増加している。

1. X：正 Y：正 Z：正 2. X：正 Y：正 Z：誤 3. X：正 Y：誤 Z：正
4. X：正 Y：誤 Z：誤 5. X：誤 Y：正 Z：正 6. X：誤 Y：正 Z：誤
7. X：誤 Y：誤 Z：正 8. X：誤 Y：誤 Z：誤

- (オ) 過疎化による問題をX, Yから、過疎化の対策の例をa, bから、最も適するものをそれぞれ一つずつ選んだときの組み合わせを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

問 題	X 交通渋滞や鉄道の混雑、住宅の不足などによって、地域社会の維持が困難になる。 Y 公共交通機関の減便や路線廃止、病院の廃院などによって、地域社会の維持が困難になる。
過疎化の 対策の例	a 地域の特徴となる農産品を開発したり、IターンやUターンを促進したりしている。 b 都心部への交通の利便性が高い郊外にニュータウンをつくったり、再開発を進めたりしている。

1. Xとa 2. Xとb 3. Yとa 4. Yとb

問3 Kさんは、「日本の人びとは海産物をどのように利用してきたのか。」という学習課題を設定し、海産物について調べ、次のレポートを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

レポート

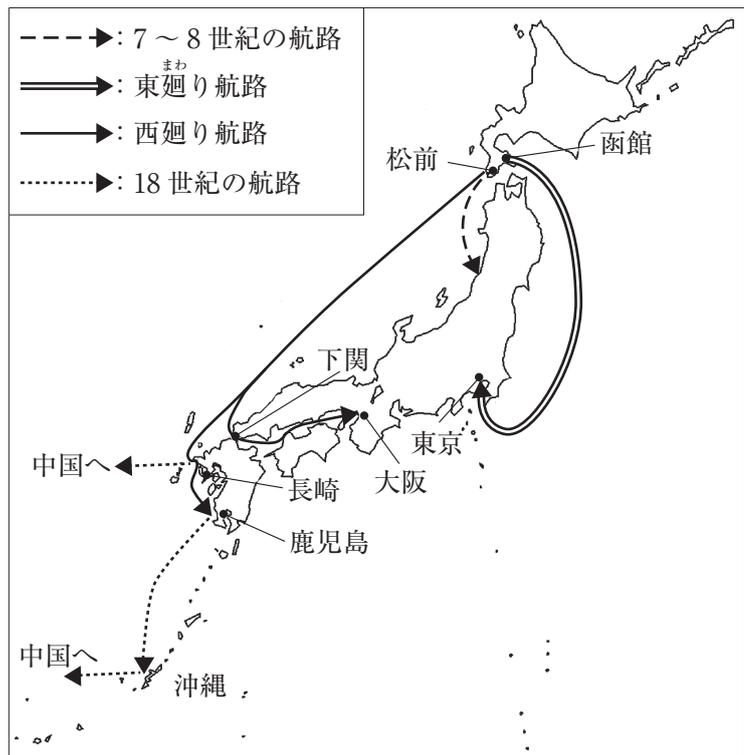
1 貝の利用

現在から約1万年前に氷期が終わり、海面が **あ** したことで日本列島が現在とほぼ同じ形となりました。このような変化がみられた①縄文時代には、動物や木の実などのほかに、豊富にとれるようになった魚や貝が食べられていました。また、貝殻を使って腕輪などがつくられていました。

2 海藻の利用

8世紀末に書かれた『続日本紀』^{しよくにほんき}という歴史書では、昆布がすでに登場しており、朝廷に服属した **い** が、8世紀に昆布を献上したという記載があります。また、現在の北海道にあたる地域で採られた昆布は、資料1のように経路を拡大しながら各地に運ばれたと考えられています。

資料1 昆布の流通経路の拡大の様子を大まかに示したもの



※地名は現在の地名である。

(北海道漁業協同組合連合会ウェブサイト掲載資料を参考に作成)

3 魚の利用

律令が整備されると、海産物が都に運ばれるようになりました。たとえばかつおは、主に特産物を納める **う** の品目として律令に記載されていました。江戸時代には、江戸の佃島^{つくだじま}の漁師たちが船の中で食べたり、不漁の際に食べたりするものとして、佃煮がつくられるようになり、②参勤交代を通じて各地に広がって、食べられるようになりました。

(ア) **あ** ~ **う** にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | | | | | |
|---------|---------|-----|---------|---------|-----|
| 1. あ：上昇 | い：奥州藤原氏 | う：租 | 2. あ：上昇 | い：奥州藤原氏 | う：調 |
| 3. あ：上昇 | い：蝦夷 | う：租 | 4. あ：上昇 | い：蝦夷 | う：調 |
| 5. あ：下降 | い：奥州藤原氏 | う：租 | 6. あ：下降 | い：奥州藤原氏 | う：調 |
| 7. あ：下降 | い：蝦夷 | う：租 | 8. あ：下降 | い：蝦夷 | う：調 |

(イ) ——線①に関して、この時期の日本列島の人びとの様子について述べた次の文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1~4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 地域の首長を埋葬するための墓に、船などをかたどった埴輪を並べた。

Y 地面に穴を掘り屋根をつけたたてあな住居に住んだ。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. X：正 Y：正 | 2. X：正 Y：誤 | 3. X：誤 Y：正 | 4. X：誤 Y：誤 |
|------------|------------|------------|------------|

(ウ) 資料1に関して述べた文として最も適するものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 7～8世紀の航路によって昆布が運ばれた時期の東北地方では、邪馬台国が栄えていた。
2. 西廻り航路によって昆布が下関を経由して大阪まで運ばれていた時期の瀬戸内地方では、藤原純友による反乱がおこった。
3. 東廻り航路によって昆布が運ばれた時期の東京は、「天下の台所」といわれ、各藩の蔵屋敷がおかれた。
4. 現在の北海道にあたる地域で採られた昆布が中国に輸出されていた時期には、田沼意次が俵物の輸出を拡大した。

(エ) ——線②に関して、Kさんは調べたことを次のメモにまとめ、資料2を用意した。あとの文a～dのうち、Kさんのレポートやメモ、資料2からわかることを述べたものの組み合わせとして最も適するものを、1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

メモ

- 大阪の陣や島原・天草一揆が終わると、幕府が諸大名を戦いに率いる機会は、倒幕運動がおこるまでなくなった。
- 徳川家光の時代に定められた参勤交代の制度は、将軍と大名の主従関係を確認するという意味があった。
- 参勤交代に同行させる人数は、領地の石高を基準として幕府によって決められていた。
- 水戸藩の藩主は常に江戸にいるよう求められ、必要なときのみ幕府の許可を得て領地に戻っていた。

資料2 「武家諸法度」(参勤交代に関する部分のみ抜粋)

一 大名が国元と江戸とを参勤交代するよう定めるものである。毎年夏の四月中に江戸へ参勤せよ。従者の人数が最近大変多いようである。これは一つには、領国の支配の上での無駄であり、また一方で、領民の負担となる。以後は、身分に応じて人数を減少せよ。

- a キリスト教信者たちによる一揆が終わると、19世紀後半まで幕府が諸大名を戦いに率いることはなくなった。
- b 領民の負担を軽減させるため、参勤交代に同行させる人数を石高に関係なく定めていた。
- c 参勤交代は、江戸の文化が各地に広まることについて一定の役割を果たしていた。
- d 将軍と諸大名の主従関係は、参勤交代によって確認され、すべての大名が、領地と江戸を1年おきに往復することを求められていた。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd 6. cとd

(オ) Kさんは、レポートをもとに発表をおこなった。次の文は、発表を聞いた生徒のふりかえりの一部である。文中の え にあてはまる語句として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

Kさんの発表を聞いて、日本列島の人びとは、海産物を え として利用してきたということがわかりました。

1. 税, 装飾品, 商品作物
2. 税, 保存食, 商品作物
3. 税, 装飾品, 保存食
4. 装飾品, 保存食, 商品作物

問4 Kさんは、近現代の民衆の動きが政治に与えた影響に関する歴史について調べ、次のレポートを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

レポート

近現代の歴史を学習して、世界的に民衆の動きと政治には大きなかわりがあることに気づきました。そこで私は「民衆の動きは政治にどのような影響を与えたのか。」という学習課題を設定し、次の年表をつくり、課題について仮説を立てました。

年表

できごと	
1874年	日本で①自由民権運動が始まる。
1918年	富山県で起こった事件が全国に広がる。…………… [B]
1965年	②ベトナム戦争に対する反戦運動がおこる。
1989年	ベルリンの壁が市民によって取り壊される。

仮説：「民衆の動きは、政府の政策に様々な影響を与えている。」

今後は、普通選挙の実現など、民衆の動きに関するほかのできごととも調べ、検証していきたいです。

(ア) — 線①について述べた次の文 a～dのうち正しいものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a 日本各地で憲法の草案がつくられたり、演説会がひらかれたりした。
- b 日本がアメリカ合衆国などの国々と、貿易を始めることに反対する運動がおこった。
- c 伊藤博文を代表とした立憲政友会が結成された。
- d 大隈重信を党首とした立憲改進党が結成された。

1. aとc 2. aとd 3. bとc 4. bとd

(イ) — 線②に関して、次の文はベトナム戦争時の日本の動きについて、Kさんが調べてまとめたものである。文中の [あ]、[い] にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

ベトナムでの戦争にアメリカ合衆国が本格介入した1965年、日本は、同じ資本主義陣営である [あ] と条約を結び、国交を正常化した。また、 [い] の締結以降もアメリカ合衆国に統治されていた沖縄では、アメリカ軍の基地がベトナム戦争での拠点として活用されたことから、本土復帰運動がベトナム反戦運動と結び付いた。

1. あ：大韓民国 い：サンフランシスコ平和条約
 2. あ：大韓民国 い：ポーツマス条約
 3. あ：中華人民共和国 い：サンフランシスコ平和条約
 4. あ：中華人民共和国 い：ポーツマス条約

(ウ) 年表中の [A] の期間におこった次のできごとⅠ～Ⅲを年代の古い順に並べたものとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- Ⅰ ドイツ軍の侵攻に対して、降伏したフランスなどではレジスタンスとよばれる抵抗運動がおこった。
- Ⅱ 民族自決の考えに刺激を受け、「独立万歳」と叫ぶ運動が朝鮮半島でおこった。
- Ⅲ ロシアとの戦争の賠償金が得られないことに不満をもつ民衆によって、日本で暴動がおこった。

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ 2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ 3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
 4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ 5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ 6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

(エ) Kさんは、年表中の [B] のできごとがおこった前後の時期に様々な民衆の動きがさかんになっていることに興味をもち、さらに学習を進めて次のメモを作成し、資料1、資料2を用意した。[B] のできごとの原因と結果をX～Zから、メモや資料1、2に関する説明として正しいものをa～cから、最も適するものをそれぞれ一つずつ選んだときの組み合わせを、1～9の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

メモ

- 労働者や女性の権利拡大を求める運動が欧米諸国で広がり、日本にも影響を与えた。
- デモクラシーの風潮が高まるなかで、吉野作造や美濃部達吉らが独自の主張を展開した。
- 女性やアイヌの人びとがそれぞれ団体をつくり、差別解消や地位向上を求めた。

資料1 『青鞥』(一部抜粋)

(著作権上の都合により省略)

資料2 「水平社宣言」(一部抜粋)

(著作権上の都合により省略)

原因と結果	<p>X [B] は、海軍軍縮の条約が結ばれたことに軍部が反対したことを背景におこったできごとであり、これにより、日本の協調外交が揺らぐこととなった。</p> <p>Y [B] は、藩閥を後ろ盾とする内閣が成立したことを背景におこったできごとであり、これにより、憲法にもとづく政治を守ることをスローガンとする運動がおこり、藩閥の内閣が退陣した。</p> <p>Z [B] は、商人による米の買い占めにより米価が高騰したことを背景におこったできごとであり、これにより、政府への批判が高まって首相が辞任し、本格的な政党内閣が新たに成立した。</p>
説明	<p>a 第一次世界大戦が総力戦だった欧米諸国では、メモ中の労働者や女性の権利拡大を求める運動が広がった。</p> <p>b 美濃部達吉が民本主義を主張したことは、理論面で政党内閣制を支えた。</p> <p>c 資料1と資料2は、メモにある差別解消や地位向上を求める団体がそれぞれ創設された際に出された宣言である。</p>

1. Xとa 2. Xとb 3. Xとc 4. Yとa 5. Yとb 6. Yとc
 7. Zとa 8. Zとb 9. Zとc

(オ) Kさんは、自分の立てた仮説が正しいかどうかを検証するため、ほかのできごとにも調べた。民衆の動きと政府の政策との関係について述べた次の文X～Zの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 地租改正を実施したが、日本各地で大きな反対運動がおこり、地租が2.5%に引き下げられた。
 Y 2度目の護憲運動がおこった結果、加藤高明内閣のもとで衆議院議員の選挙権を男女ともに与える普通選挙が実現した。
 Z 国会議事堂周辺で大きな反対運動がおこったことで、日米安全保障条約の改定はおこなわれなかった。

1. X：正 Y：正 Z：正 2. X：正 Y：正 Z：誤 3. X：正 Y：誤 Z：正
 4. X：正 Y：誤 Z：誤 5. X：誤 Y：正 Z：正 6. X：誤 Y：正 Z：誤
 7. X：誤 Y：誤 Z：正 8. X：誤 Y：誤 Z：誤

問5 Kさんは、「先端的な科学技術や情報通信技術は、社会にどのような影響を与えているのか。」という学習課題を設定し、それを考察するための問いを立てた。これについて、あとの各問いに答えなさい。

(ア) Kさんは、「科学技術や情報通信技術は、生活をどのように変化させたのか。」という問いを立て、家計の消費支出をまとめた次の表を作成し、表からわかることをメモ1にまとめた。表中の「あ」～「う」にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表 二人以上の世帯の月平均消費支出の内訳と割合、および消費支出の合計額

	あ	い	教養娯楽	う	住居	光熱・水道	その他	消費支出の合計額
1975年	32.0%	9.2%	8.4%	6.1%	4.9%	4.5%	35.0%	15.8万円
2000年	23.3%	5.1%	10.1%	11.4%	6.6%	6.8%	36.7%	31.7万円
2024年	30.0%	3.3%	10.1%	13.9%	6.0%	7.7%	29.0%	30.0万円

※ 小数第二位を四捨五入しているため、それぞれの年の合計が100%にならないことがある。

(総務省ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

メモ1

通信技術が発展し、インターネットやスマートフォンが普及したことにより、1975年から2024年にかけて、これに関連する消費支出の金額が3万円以上増加しています。一方、2000年代から安価な衣服が国内で普及したこともあり、1975年から2024年にかけて、これに関連する支出の割合は大幅に減少しています。さらに、1975年から2000年にかけて食費に関する支出の割合が低下しましたが、2024年には物価上昇の影響で増加しています。これらのことから、生活のなかで何にどのくらいお金を使っているのかが、時代とともに変化していることがわかります。

1. あ：食料 い：交通・通信 う：被服・履物 2. あ：食料 い：被服・履物 う：交通・通信
 3. あ：交通・通信 い：食料 う：被服・履物 4. あ：交通・通信 い：被服・履物 う：食料
 5. あ：被服・履物 い：食料 う：交通・通信 6. あ：被服・履物 い：交通・通信 う：食料

(イ) Kさんは、「人びとがインターネットやスマートフォンを使用することによって得られたビッグデータは、どのように活用されているのか。」という問いを立て、ビッグデータの活用事例に関する次のメモ2をまとめた。メモ2中の①と②の取り組みと、その取り組みの具体的な方策と期待される効果a～dの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

メモ2

あらゆるモノがインターネットにつながっている現代において、ビッグデータは様々な場面で活用されています。たとえば、次の①、②のような取り組みをしている小売店や企業があります。

- ① 過去の販売データや天気などの情報をもとに、効率的な商品の準備や販売につなげている小売店。
 ② 駅利用者数や座席の予約数などの情報をもとに、効率的な運行や予算配分につなげている企業。

具体的な方策と期待される効果

- a 常に同じ量の商品をすべての店舗に置くことで、天候に左右されることなく販売することができる。
 b 必要な量を事前に判断し、仕入れを過不足なくおこなうことで、商品の売れ残りを減らすことができる。
 c すべての駅でホームドア(注)の設置を推進することで、利用者の安心感を高めることができる。
 d 乗客が少ない時間帯の運行を減らすことで、運転士の業務を調整したり、運行にかかる費用を削減したりすることができる。

(注) 駅のホームに設置される、転落事故や列車との接触などを防ぐための設備。

1. ①：a ②：c 2. ①：a ②：d 3. ①：b ②：c 4. ①：b ②：d

- (ウ) Kさんは、「先端的な技術を活用する社会をどのような人たちが支えているのか。」という問いを立て、次の資料とメモ3を用意した。これらから考えられることについて述べた文として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料 インターネットショッピングの割合と宅配便の取り扱い実績、および宅配便の再配達の割合

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
モノの販売取引におけるインターネットショッピングの割合(%)	6.2	6.8	8.1	8.8	9.1
宅配便の取り扱い実績(億個)	43.1	43.2	48.4	49.5	50.1
宅配便の再配達の割合(%)	15.0	16.0	8.5	11.2	11.7

メモ3

物流は国民生活や経済を支える基盤です。政府は物流産業を魅力ある職場とするため、トラックドライバーの長時間労働是正に関する法律を制定しました。この法律が2024年より適用されることから、輸送力が低下し、物流が停滞すると懸念けねんされました。これに対して政府は、不在で届けられなかった荷物を再配達する回数を減らすことなどの政策を推進してきました。

(資料、メモ3は、経済産業省、国土交通省ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- モノの販売取引におけるインターネットショッピングの割合を比べると、2022年は2018年の2倍以上となっている。
 - 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2020年の宅配便の取り扱い実績の個数は前年よりも減少した。
 - 物流の輸送力が低下したことによって、2018年から2022年にかけて宅配便の再配達さいぱいとうの割合は年々減少し続けている。
 - 物流の停滞に関する懸念に対して、政府はトラックドライバーの配達効率を改善する政策を推進してきた。
- (エ) Kさんは、「現代の企業は、変化する社会に対応するためにどのようなことに取り組んでいるのか。」という問いを立てた。これについて述べた文として最も適するものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 情報技術を活用した新しい金融サービスであるフィンテックを活用している企業がある。
 - ベンチャー企業とよばれる、新しい知識や技術を活用して国や地方自治体が運営する企業がある。
 - 現代の企業には、環境保護や人権尊重などよりも、社会的責任として利益の追求のみが求められている。
 - 多くの企業は、日本国内の雇用を増加させることを目的として、海外に工場などを新しく建設している。
- (オ) Kさんは、「変化する社会での働き方に対して、企業はどのようなことに取り組んでいるのか。」という問いを立てた。これについて述べた次の文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 人工知能の普及に伴って労働力不足が深刻化していることから、労働者の確保のために終身雇用や年功序列(型)賃金の制度を導入する企業が増えている。

Y 情報通信技術の発達によって、職場に通勤することなく自宅などで働くといった多様な働き方が選択できる企業が増えている。

1. X:正 Y:正
2. X:正 Y:誤
3. X:誤 Y:正
4. X:誤 Y:誤

問6 Kさんは「世界の平和と安全の実現のために、日本および国際社会はどのような取り組みをしているのか。」という学習課題を設定して、疑問点を次のメモにまとめた。これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

- ① 日本国憲法の基本的な考え方は、どのようなものか。
- ② 日本は、国の防衛にどのくらい費用をかけているのか。
- ③ 国際連合とは、どのような組織か。
- ④ 国際社会の課題を解決するために、どのような取り組みがおこなわれているか。

(ア) メモ中の①に関して、次の文a～dのうち、日本国憲法における規定について述べたものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a 日本国憲法は、国会を「国権の最高機関」と定めている。
- b 日本国憲法は、最高裁判所長官の任命を内閣の仕事と定めている。
- c 日本国憲法は「個人の尊重」の考え方に基づいて基本的人権を保障しているが、基本的人権は「公共の福祉」のために制限を受けることがある。
- d 日本国憲法は、裁判の公正と中立を保つために司法権の独立を保障しており、裁判官は有権者による国民審査以外の理由で辞めさせられることはない。

1. aとc 2. aとd 3. bとc 4. bとd

(イ) メモ中の②に関して、次の資料から考えられることについて述べたあとの文X～Zの正誤の組み合わせとして最も適するものを、1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料 日本の防衛関係費の推移

年度	1955	1965	1975	1985	1995	2005	2015	2024
防衛関係費（億円）	1,349	3,014	13,273	31,371	47,236	48,564	49,801	79,496
防衛関係費の対GDP比（%） ※1985年度までは対GNP比	1.78	1.07	0.84	1.00	0.96	0.95	0.99	1.29

(防衛省「令和6年版防衛白書」をもとに作成)

- X 防衛関係費の対GNP比は、1955年度から1985年度まで減少し続けている。
- Y 1965年度と1995年度を比較したときと、1995年度と2024年度を比較したときでは、1995年度と2024年度を比較したときの方が防衛関係費の増加額は少ない。
- Z 1995年度と2005年度を比較すると、2005年度の方が日本のGDPは大きい。

1. X：正 Y：正 Z：正 2. X：正 Y：正 Z：誤 3. X：正 Y：誤 Z：正
 4. X：正 Y：誤 Z：誤 5. X：誤 Y：正 Z：正 6. X：誤 Y：正 Z：誤
 7. X：誤 Y：誤 Z：正 8. X：誤 Y：誤 Z：誤

(ウ) メモ中の③に関して、国際連合について説明した次の文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

X 本部はスイスのジュネーブに置かれている。

Y 安全保障理事会の理事国15か国は拒否権をもち、1か国でも反対すると決議ができなくなる。

1. X：正 Y：正 2. X：正 Y：誤 3. X：誤 Y：正 4. X：誤 Y：誤

(エ) メモ中の④に関して、次の(i)、(ii)の問いに答えなさい。

(i) Kさんは、2025年1月に国際連合の事務総長がおこなった演説で述べられた国際社会の課題と、それぞれの課題に対応する国際連合の取り組みについて、次の表にまとめた。表中の「あ」～「う」にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表

演説で述べられた国際社会の課題	国際連合の取り組み
暴走する紛争…紛争が増加し、核の脅威が高まり、人権が侵害され、国際法違反が繰り返される。	人間一人ひとりの生活を守る「あ」の確立に向け、「持続可能な開発目標（SDGs）」を採択。
まん延する不平等…私たちの社会・経済・政治・金融システムに深刻な問題がある。	無担保で小額の融資をおこなう「い」を促進して、貧困の撲滅と自立を支援。
猛威をふるう気候危機…世界各地の気候変動による環境の破壊が、一般市民を苦しめている。	「う」を採択し、温室効果ガスの排出量削減を推進。

(国際連合ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1. あ：集団安全保障 | い：フェアトレード | う：RCEP協定 |
| 2. あ：集団安全保障 | い：フェアトレード | う：パリ協定 |
| 3. あ：集団安全保障 | い：マイクロクレジット | う：RCEP協定 |
| 4. あ：集団安全保障 | い：マイクロクレジット | う：パリ協定 |
| 5. あ：人間の安全保障 | い：フェアトレード | う：RCEP協定 |
| 6. あ：人間の安全保障 | い：フェアトレード | う：パリ協定 |
| 7. あ：人間の安全保障 | い：マイクロクレジット | う：RCEP協定 |
| 8. あ：人間の安全保障 | い：マイクロクレジット | う：パリ協定 |

(ii) 国際社会の課題解決のために日本がおこなっている取り組みについて述べたものとして最も適するものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 個別的自衛権を行使できるよう憲法改正をおこなったうえで、国際連合の平和維持活動に積極的に参加している。
2. 政府開発援助（ODA）を中心に、発展途上国の開発を支援し、世界の発展に平和的に貢献する努力を続けている。
3. 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟し、地域の経済連携を推進している。
4. 国連環境開発会議（地球サミット）の開催地として、主導して制定した京都議定書に基づき、気候変動への対策に向けた取り組みを進めている。

問7 Kさんは「ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）は社会にどのような影響を与えているのか。」という学習課題を設定し、それを考察するための問いを立てた。これについて、あとの各問いに答えなさい。

(ア) Kさんは、「SNSが発達する前のメディアには、どのようなものがあつたのか。」という問いを立て、メディアの発達に関する次の年表を作成した。この年表に関して述べた文として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

年表

	できごと
1871年	横浜で日本初の日刊新聞が創刊され、情報が大量に伝達されるようになった。
1925年	日本でラジオ放送が開始され、国内外のできごとがすぐに全国に伝えられるようになった。
1953年	日本でテレビ放送が開始され、家庭でも映像による情報を入手できるようになった。
1990年代後半	インターネットが普及し、さまざまな情報を双方向にやり取りできるようになった。
2000年代以降	SNSが普及し、人びとが手軽に情報を発信できるようになった。

1. 横浜は、日本初の日刊新聞が創刊された当時における外国との唯一の貿易港であった。
2. 関東大震災の被害の様子は、ラジオ放送によってすぐに日本全国の国民に伝えられた。
3. 東海道新幹線が開通したという情報は、テレビでも伝えられた。
4. 東ヨーロッパの社会主義政権が次々と崩壊する様子は、インターネットを通じて即時発信された。

(イ) Kさんは、「SNSは、政治にどのような影響を与えるのか。」という問いを立て、「アラブの春」というできごととSNSの影響について調べ、次の資料1、資料2と略地図を用意した。これらから読み取れることについて述べたあとの文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料1 「アラブの春」とSNS

「アラブの春」とは、2010年12月にチュニジアでおこった革命から、エジプト、リビアなどのアラブ世界に波及した、長期化政権に反対する民主化運動の総称である。政府に対する抗議への参加がSNSによって呼びかけられており、抗議活動が、アラブ世界におけるSNS利用者の増加につながったとみられている。

資料2 「アラブの春」の情報源（複数回答可）

情報源	国	チュニジア	エジプト
SNSなどのソーシャルメディア		94.3%	88.1%
民間メディア		85.7%	62.7%
国際メディア		47.6%	56.9%
政府系メディア		40.0%	35.7%
その他の情報源		64.3%	59.1%

略地図



(資料1, 2は総務省ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

X チュニジアでもエジプトでも、「アラブの春」の情報をSNSなどのソーシャルメディアから入手した人の割合が最も高く、SNSでは政府に対する抗議への参加が呼びかけられていた。
 Y 「アラブの春」がおこった略地図に示される3つの国は、地中海を挟んでヨーロッパ州に面しており、これらの国々ではいずれもキリスト教を信仰している人びとが最も多い。

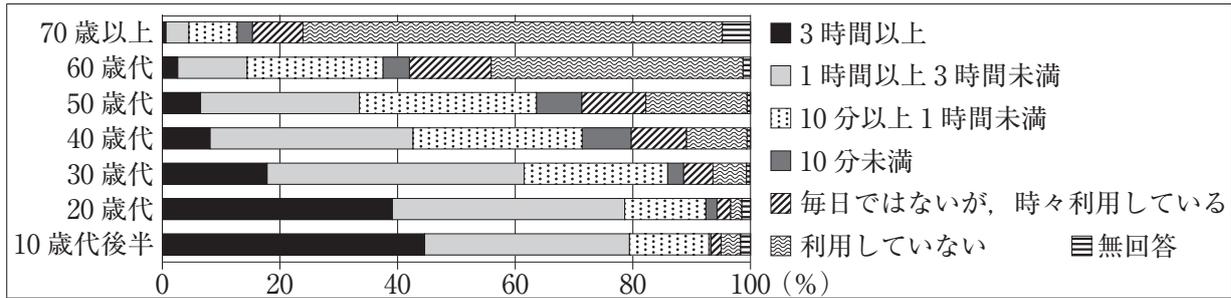
1. X : 正 Y : 正 2. X : 正 Y : 誤 3. X : 誤 Y : 正 4. X : 誤 Y : 誤

(ウ) Kさんは、「SNSは、消費者の行動にどのような影響を与えているのか。」という問いを立て、次の資料3～資料5を作成した。これらから考えられることについて述べたあとの文X～Zの正誤の組み合わせとして最も適するものを、1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料3 商品やサービスの購入を検討する際の情報源として重視するもの（年齢層別割合）（2022年）

情報源	年齢層	10歳代後半	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
SNS		45.8%	52.3%	41.8%	24.9%	18.1%	7.7%	1.7%
テレビ・ラジオ		13.8%	8.4%	10.9%	14.4%	21.8%	25.8%	29.7%
新聞・雑誌		5.8%	3.6%	6.5%	11.4%	19.3%	31.3%	40.8%

資料4 SNSの一日あたり利用時間（年齢層別割合）（2021年）



資料5 インターネット取引の注意点

インターネット取引では、注文の確認画面に記載された内容で契約を結ぶことになります。クーリング・オフ制度による解約はできず、解約や商品の交換等の取引条件は、提示された「返品特約」に従うことになります。

（資料3～5は消費者庁ウェブサイト掲載資料をもとに作成）

X 50歳代以上の年齢層は、商品等の購入を検討する際の情報源としてテレビ・ラジオを最も重視している。

Y SNSを一日あたり1時間以上利用する人の割合が5割を超えているすべての年齢層をみると、商品等の購入を検討する際に情報源として最も重視しているものは、SNSである。

Z 訪問販売で商品を購入した場合、一定期間内であればクーリング・オフ制度を利用し契約を解除できるが、インターネット取引の場合、クーリング・オフ制度は利用できない。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. X：正 Y：正 Z：正 | 2. X：正 Y：正 Z：誤 | 3. X：正 Y：誤 Z：正 |
| 4. X：正 Y：誤 Z：誤 | 5. X：誤 Y：正 Z：正 | 6. X：誤 Y：正 Z：誤 |
| 7. X：誤 Y：誤 Z：正 | 8. X：誤 Y：誤 Z：誤 | |

(エ) Kさんは、「SNSは、人びとの行動や社会の仕組みに影響を及ぼすことがある。」と考え、クラゲチャートを用いた右の図を作成した。図の●には、考えの根拠が入る。図の●に入る根拠として誤っているものを、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 手軽に情報を発信できるようになり、SNS上ではフェイクニュースが意図的に流されることがある。
- SNS上の情報は世界中に発信され、アラブ世界における複数の国ではSNSでの呼びかけによって民主化運動が広がった。
- SNSを利用することで、有権者に自身の活動や政策を直接訴える政治家が登場し、有権者もマスメディアを介さずに情報を得ることができる。
- SNS上で人権侵害と思われる事案が発生したことを受けて、日本ではプライバシー権の保障が憲法に明記された。

図



（問題は、これで終わりです。）

